タイトル：平成 26（2014）年度　教育セミナー（第 10 回）
日時：平成 26 年 9 月 20 日（土）～23 日（火・祝）
場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究　3 階　マルチメディア会議室（304）

「14 世紀初頭の西アナトリア情勢　― アイドゥン君侯国とカタロニア傭兵団を中心に」
三上　哲史（日本大学大学院文学研究科史学専攻）

教育セミナーでの発表は、修士課程入学以来の私の目標であると同時に、指導教官である粕谷先生との約束でもありました。昨年は、自分の研究が発表できるようなレベルに達していなかったので、専ら他の受講生や先生方の発表を聞くだけでしたが、今年は何とか発表することができました。そして、拙い発表ではありましたが、受講生の方々や先生方から色々とアドバイスを受けることもできました。特に、髙松先生と近藤先生からは、昨年同様貴重なご指導を賜り、修士論文の参考になることをたくさん吸収することができました。本当にありがとうございました。

四日間のセミナーは、中東・イスラーム研究の最先端を走る一流の先生方の講義や、受講生の方々のレベルの高い発表、質疑応答、セミナー後の飲み会など、盛りだくさんの内容で大変有意義なものでした。人類学や地域研究を専門としている先生方の発表や発言は、歴史学を専攻している私にとってはとても新鮮で、大変良い刺激になりました。

しかし、得るものもあった一方で、先生方や受講生の方々の発表・質疑応答を聞いていて、自分の視野の狭さや勉強不足も痛感しました。常日頃、視野を広く持とうと意識はしていても、つい自分の関心あるところにばかりに目が行ってしまう私にとって、他分野の方々との交流は視野を広く持つことの大切さを再確認させてくれました。

この四日間のセミナーからは本当に沢山のことを学ぶことができました。今後は、ここで学んだことをきちんと自分の研究の中に生かしていけるよう努力したいと思います。 最後に、講師の先生方、事務局の千葉淑子様をはじめ今回のセミナーの運営スタッフの方々に深く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。